

足音

六月二〇日

石巻中一年

学年通信No.十七

編集・発行

鈴木 孝明

勉強は計画的に

第二回定期テストが近づいています。

週末の勉強は、どうでしたか。パンパンになったかばんの分、しっかりとできましたか。

自分なりに満足のいくものになりましたか。

授業をしていると、みなノ口々に、

「順位が・・・!」「内申が・・・!」

という声をよく聞くようになりました。中学生らしい叫びです。その重みをちゃんとわかるようになってきました。

とある子の先週の「本気ノート」にこんな記述がありました。

・今日は学習会がありました。二回目なのでどのくらいの範囲ができたのかがわかるようになったので、あせらないで勉強できました。十五分で短くてあまり進められなかったけど、大体の進め方がわかったのでよかったです。家

でもゆるげど家よりの学校の方が、集中力があるので頭にも入ったし、勉強した感があって、自分なりにも満足しました。課題も、もうすぐ終わるのでがんばります。

この子のすばらしいところは、テスト二回目にして、すでに自分自身の勉強の在り方について、かなり明確につかんでいるということです。以前にも一度伝えましたが、定期テストは年に五回あり、それが三年間続きます。だからこそ、テストの結果はもちろん、その取り組み方を成長させなければなりません。

これをまさに実践できています。すばらしいことです。それが結果につながることを願うばかりです。

慣れていくのは、武器となりますが、今回のテストは前回と違う点があります。一番大きいのは九教科あるという点。テストも三日間あります。

したがって、今日からテストを迎えるまでの二日間、さらにテスト日の午後二日分、この合計四日間の勉強をいかに計画的に進められ

るかがカギとなります。特に、テスト日の午後(二十二日と二十三日)は、十三時には下校するので、かなりの勉強時間が確保できます。そこから逆算して、今日からの学習計画を立てておくとういことだと思います。ぜひとも考えてみてください。

学校での学習会、さらには自習の様子を見る限り、第二回定期テストに対する、学年全体としてのここまでの様子は、かなりがんばれているなど思えます。すばらしいことです。一回目からすでに「学べる集団」であったのが、さらに磨きがかかった印象があります。

そこからさらに一歩進むため、家庭学習の充実を図ること。これがポイントとなります。みんなが学ぶ良さはもちろんあるけれど、学力においては、一人でなければ伸びない部分があります。そこにこだわって、やり切って、テスト初日を迎えましょう。

期待しています。

